

会 議 記 録	
会 議 の 名 称	予算特別委員会 産業建設分科会 会議場所 第2委員会室 担当職員 駒田
日 時	令和6年3月21日（木曜日）
	開 議 午後 4 時 4 0 分 閉 議 午後 5 時 0 1 分
出席委員	◎林、○片山、法貴、山木、小川、齊藤、木村
出席理事者	
出席事務局	駒田主査
傍聴者	市民0名 報道関係者0名 議員0名

会 議 の 概 要

16：40

1 開議

（林分科会委員長あいさつ）

2 委員間討議

<片山副委員長>

第1号議案の令和6年度亀岡市一般会計予算の商工業振興対策経費、産学公連携事業補助金について、オープンイノベーションセンター・亀岡への補助金として当初予算3,000万円が計上されているが、金額に対して事業内容が曖昧であることが気になっている。事業成果としても、本当に市長の説明のように大きく表れているのか疑義がある。産学官連携事業補助金3,000万円の妥当性について討議したい。

<林委員長>

片山副委員長の討議の申し出について、委員間討議してもよいか。

<木村委員>

委員間討議してもよい。

<林委員長>

委員間討議する。意見はあるか。

<木村委員>

産学官連携事業補助金については令和6年度で3年目であり、当初の計画としては令和7年度までと聞いている。補助金として交付するため、その補助金で取り組まれる事業内容についての詳細は把握していない。

<片山副委員長>

金額のみ提示され、白紙委任されている状況では予算の審議をすることができない。4年間で4億円を執行する計画とのことだが、債務負担行為もとっておらず、覚書や協定書に明記されていなければ4億円というのは口約束のような状態である。そのため来年度予算の3,000万円については十分に議論すべきである。

<木村委員>

亀岡市からの補助金は4年間のみで、その期間が終われば自走されるという認識

である。

<齊藤委員>

当初から4億円の計画であり、今中止すると中途半端になってしまう。当初の目的を達成するために、見守ることに重点を置くべきではないか。

<小川委員>

産学官連携事業補助金は当初からの計画があり、その計画に基づき投資している段階である。最終的に目的に沿った効果が出るのかを見守るべきであり、現段階で補助金の額は論点ではないと思う。

<木村委員>

昨年度の予算特別委員会においても、指摘要望事項として進捗状況を適宜委員会に報告するよう求めている。

<片山副委員長>

オープンイノベーションセンター・亀岡についての資料では、自己資金の目途が立っていないのではないかと感じていた。補助金頼みで運営している状況から、今後自立して運営できるのか懸念がある。

16:47

3 討論～分科会採決

[討論]

<片山副委員長>

第1号議案の令和6年度亀岡市一般会計予算について反対の立場で討論する。商工業振興対策経費に係る産学官連携事業補助金について、補助金額の算定根拠が不明確であり、地域経済への波及効果が不十分である。

<小川委員>

第1号議案の令和6年度亀岡市一般会計予算について賛成の立場で討論する。第5次亀岡市総合計画に沿った着実な事業計画であり、分科会での審査からも健全な財政運営をされていると考える。

[採決]

- ・第1号議案 令和6年度亀岡市一般会計予算（所管分）

可決・多数（反対：片山委員）

- ・第6号議案 令和6年度亀岡市土地取得事業特別会計予算

可決・全員

- ・第8号議案 令和6年度亀岡市水道事業会計予算

可決・全員

- ・第9号議案 令和6年度亀岡市下水道事業会計予算

可決・全員

[指摘要望事項]

<林委員長>

委員長報告の作成に当たり、指摘要望等の意見はあるか。

<小川委員>

指摘要望事項はないと考えるが、市長質疑した内容を意見として盛り込んではどうか。商工業振興対策経費における事業について効果が表れるような形で取り組まれない、全国都市緑化フェア in 京都丹波については市民機運醸成に向けてしっかりと取り組まれない、安全なわが家の耐震化促進事業費における木造住宅耐震化促進の取組の拡充については市民からの要望も多く十分に取り組まれないといったことを委員長報告に含めてはどうか。

<林委員長>

小川委員から提案のあった内容について、審査の中での意見として委員長報告に含めることとする。文言については正副委員長に一任願う。

(全員了)

<林委員長>

次回は、3月22日（金）、午前11時から分科会を開催し、委員長報告の確認を行う。

～散会 17:01